

日	曜	9月行事予定	給食
1	月	45分日課 ①始業式・表彰式②学活③月3④月4 生徒会専門委員会	○
2	火	50分日課 ①～⑤課題テスト ⑥カット	○
3	水	45分日課～9/12	○
4	木		○
5	金		○
6	土		
7	日		
8	月		○
9	火	③④八中祭展示の部	○
10	水	⑤⑥カット	○
11	木	八中祭表現の部8:45 八中祭保護者鑑賞会14:20	○
12	金	①～③会場撤去	○
13	土		
14	日		
15	月	敬老の日	
16	火	50分日課～9/29	○
17	水	研究授業(柴田先生)	○
18	木		○
19	金		○
20	土		
21	日		
22	月		○
23	火	秋分の日	
24	水		○
25	木	絵本読み聞かせ	○
26	金	⑤⑥特別授業(アリーナ)	○
27	土		
28	日		
29	月		○
30	火	45分日課 生徒会専門委員会 研究授業(大村先生)	○

## 2学期がスタート

2学期がスタートしました。2学期は、9月に「八中祭展示の部・表現の部」、10月に「合唱発表会」、11月に「人権の大会」、12月に「修学旅行」と毎月のように大きな行事があります。それぞれの行事に、目標を持って積極的に取り組んでください。それでは、行事の目標とは何でしょうか。学級では、「クラスで団結する」、「全員で楽しむ」などになりますが、一人ひとはどうでしょう。「合唱発表会では、大きな声で音程をとって歌う」、「異なる文化に触れ、見聞を広げる」など、自分自身の成長につながります。学級で楽しみながら、自分自身も大きく成長させていきましょう。

## ～戦後80年を考える～

2025年、私たちは終戦から80年という大きな節目を迎えました。これは、直接体験した人がごくわずかになっているということです。体験者の減少により、私たちにとって「戦争」が遠い日の出来事、教科書の中の出来事になってきているのかもしれませんが。だからこそ、この節目の時期にしっかりと戦争について考えましょう。

### ・戦争は「自分ごと」

よく「戦争で〇〇人の戦死者が…」と数字で悲惨さを表す事がありますが、果たしてまとまった数字や数字の大小で戦争の規模を表してもよいものでしょうか。その数字の「1」には、一人ひとりに生活があり、一人ひとりの幸福があり、一人ひとりの未来がありました。1つの大きな出来事にしてしまうのではなく、一人ひとりの背景、生活に寄り添うこと、つまり、自分ごととしてとらえることが必要です。

### ・私たちにできること

戦争のない未来をつくるために私たちにできることは何でしょう。「歴史を知る」なぜ戦争が起きたのか。当時の人が何を考えていたのか。戦後、国がどのように成長してきたのか。などをしっかりと学びましょう。「多様な声に耳を傾ける」戦争体験者の話を聴く。また、異なる文化や考え方の人々に関心を持ってみましょう。「身近な場所から平和をつくる」クラスメイトや友だちと意見が違ったとき、話し合っ解決しようとするなど、身近なところから自分にできることを実践していきましょう。

戦争の悲劇を繰り返すことなく、この平和な時代を生きる私たちにできることを考えていきましょう。

### [10月の予定]

- 8日(水) 修学旅行説明会(アリーナ)
- 9日(木) 救急救命講習
- 14日(火) 部活テスト休み ～10/16
- 17日(金) 中間テスト、表彰式
- 24日(金) 合唱発表会
- 30日(木) 生徒会専門委員会
- 31日(金) 中教研統一大会、生徒臨休

### [保護者のみなさまへ]

長い夏休みが終わりました。教育相談の折には、お忙しい中、時間をとっていただきありがとうございました。

11日の八中祭表現の部は、午後から保護者鑑賞会があります。詳しくは、後日配布するプリントをご覧ください。また、見ていただけますことで子どもたちもこれからの励みになりますので、よろしくお願いたします。